

教育・保育事業等の「量の見込み」について

| | |
|---------------------------------------|----|
| >> 「量の見込み」の考え方について | 1 |
| (1) 「量の見込み」とは... | 1 |
| (2) 「量の見込み」を算出する項目 | 3 |
| (3) 「量の見込み」の算出方法 | 4 |
| >> 町における量の見込み | 7 |
| (1) 家庭類型の構成状況（現在の家庭類型と潜在的な家庭類型） | 7 |
| (2) 量の見込みの算出シート（国のワークシート） | 8 |
| 1) ワークシートの構成 | 8 |
| 2) 基本的な計算の仕方（例） | 8 |
| (3) 幼児期の教育・保育事業の量の見込み | 9 |
| 1) 保育の量の見込み | 9 |
| 2) 幼児期の教育の量の見込み | 15 |
| 3) 教育・保育事業の見込量まとめ | 17 |

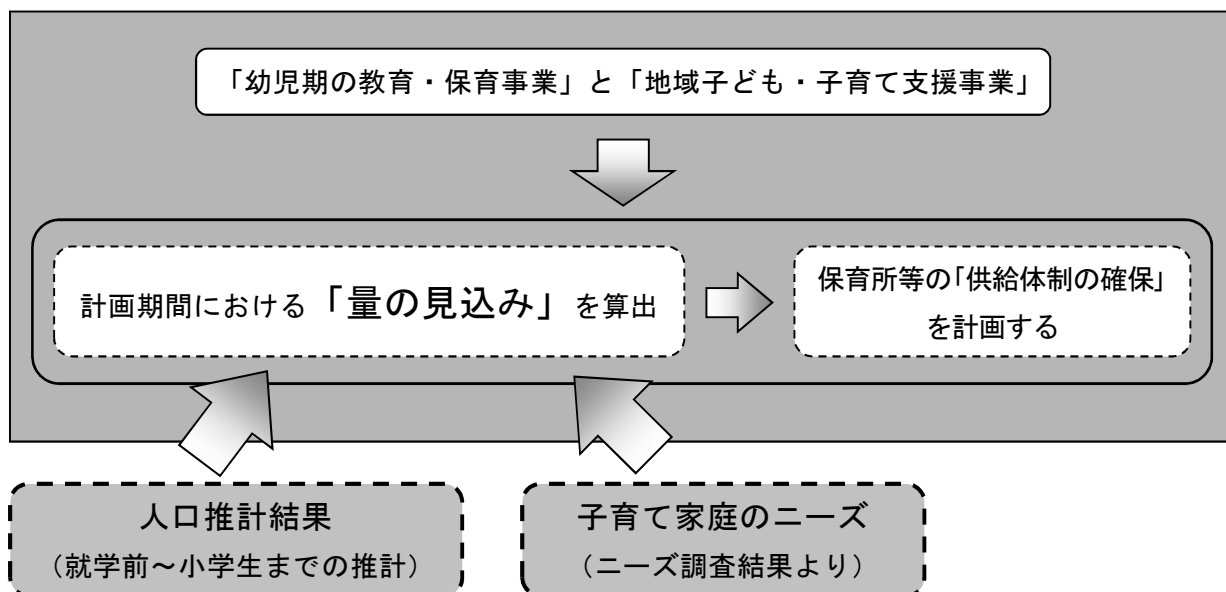
≫ 「量の見込み」の考え方について

(1) 「量の見込み」とは…

○ 「量の見込み」＝幼稚園や保育所、延長保育や一時保育、学童クラブなどについて、将来必要となる利用人数を見込むこと。

○ 「子ども・子育て支援事業計画」では、計画期間における「幼児期の教育・保育事業」と「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を算出し、見込みにもとづいた供給体制の確保策を掲げなくてはならない。

○ 「量の見込み」を算出するためには、将来の子ども数の推計結果と、子育て家庭の教育・保育事業の利用状況や利用意向を用いて見込みを行う。（国から示された計算方法を基本とする）



■新制度による給付・事業の全体像（イメージ）

子ども・子育て支援法の対象事業

◇教育・保育事業◇

- ①施設型給付
 - ・認定こども園
 - ・幼稚園
 - ・認可保育所
- ②地域型保育給付
 - ・小規模保育 ・家庭的保育
 - ・事業所内保育
 - など

◇地域子ども・子育て支援事業◇

- ・延長保育事業
- ・一時預かり
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・子育て短期支援事業
- ・病児・病後児保育事業
- ・放課後児童クラブ
- ・利用者支援事業
- ・妊婦健診 など

■ 計画に盛り込む内容（第一期計画策定時の基本指針より）

< 必須事項 >

1. 区域の設定（教育・保育提供区域の設定）

- ・「量の見込み」「確保方策」を設定する単位

2. 教育・保育の「量の見込み」、「確保策」、「実施時期」

2-1 幼児期の教育・保育の量の見込み

2-2 幼児期の教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期

3. 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」、「確保策」、「実施時期」

3-1 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

3-2 地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期

4. 幼児期の教育・保育の「一体的提供」と「推進方策」

- ・認定子ども園の設置について、教育・保育の質的向上、地域子育て支援の役割
- ・保幼小の連携、0～2歳・3～5歳の取り組みの連携

< 任意記載事項 >

1. 産後の休業、育児休業後における特定保育・教育施設等の確保

- ・産休や育児明けの保育等希望に対する円滑な対応 など

2. 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援関連（都道府県との連携）

- ・児童虐待防止対策
- ・母子家庭、父子家庭の自立支援推進
- ・障がい児など特別な支援が必要な子どもの対策

3. 労働者の職業生活と家庭生活との両立のための施策

- ・仕事と生活との調和の実現（ワークライフバランス）のための働き方の見直し など

※その他、市町村が必要と考える項目

この部分

(2) 「量の見込み」を算出する項目

○下記の事業については、全国共通で、市町村子ども・子育て支援事業計画で定める「教育・保育提供区域」ごとに「量の見込み」の算出を行う。

■全国共通で「量の見込み」を算出する項目

| | 対象事業 | 対象児童年齢 | |
|----|---|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭＞ | 3～5歳 | 教育・保育事業の 見込みを算出 |
| 2 | 保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞ | 3～5歳 | |
| | 保育認定②（認定こども園及び保育所） | 3～5歳 | |
| 3 | 保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育） | 0歳、1・2歳 | 地域子ども・子育て支援事業の 見込みを算出 |
| 4 | 時間外保育事業 | 0～5歳 | |
| 5 | 放課後児童健全育成事業 | 1～3年生、 4～6年生 | |
| 6 | 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト別） | 0～18歳 | |
| 7 | 地域子育て支援拠点事業 | 0～2歳 | |
| 8 | 一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・その他 | 3～5歳 | |
| | | 0～5歳 | |
| 9 | 病児保育事業 | 0～5歳、 1～6年生 | |
| 10 | 子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業） | 0～5歳、 1～3年生、 4～6年生 | |
| 11 | 利用者支援事業 | 0～5歳 | |
| | | 1～6年生 | |

(3) 「量の見込み」の算出方法

1) 家庭類型の分類

○教育・保育等のニーズは、子育て家庭の就労状況によって異なる。また、現在は母親が就労していない家庭でも、母親が就労した場合は保育所利用を希望することも想定される（潜在的なニーズ）。

○このため、ニーズ調査結果を活用し、保護者の就労状況による家庭類型を以下の8タイプに分け、比率を算出する。

■家庭類型の種類

| タイプ | 父母の有無と就労状況 |
|-------|--|
| タイプA | ひとり親家庭 |
| タイプB | フルタイム×フルタイム |
| タイプC | フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上+下限時間～120時間の一部) |
| タイプC' | フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満+下限時間～120時間の一部) |
| タイプD | 専業主婦（夫） |
| タイプE | パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上+下限時間～120時間の一部) |
| タイプE' | パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満+下限時間～120時間の一部) |
| タイプF | 無業×無業 |

パートタイムは、就労時間で保育認定されるためタイプを分ける

※（参考1）

- ・「月120時間」＝1日6時間×週5日×4週 程度と想定される
- ・「月64時間」（下限時間の目安）＝1日4時間×週4日×4週 程度と想定される

2) 潜在的な家庭類型の算出

○家庭類型別に、現在の就労状況から母親の就労ニーズにより、潜在的な家庭類型を算出する。

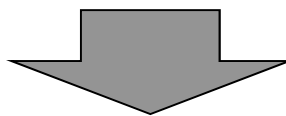
○潜在的な例としては…

- ・母親：現在は働いていない → すぐにでもフルタイムで働きたい
- ・母親：現在はアルバイトで月 60 時間 → 今後はアルバイトで月 120 時間以上働きたい

■タイプ別の分類図と潜在的な家庭類型への移行について

| 母親 | | 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | | | 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-------------------|-------------------------------|
| | | 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | 120時間以上 | 120時間未満 下限時間以上 | |
| 父親 | 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | タイプB | タイプC | タイプC' | |
| | 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | 120時間以上 タイプC | 120時間未満 下限時間以上 タイプE | タイプD | タイプD |
| | | 下限時間未満 タイプC' | タイプE' | タイプE' | |
| 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない | | | タイプD | タイプF | |

※潜在的な家庭類型は就労の希望状況より、現在→希望を「←(虚線)」で表している。



■潜在的な家庭類型への移行の例

■0歳～就学前

| | 現在 | | 潜在 | |
|---|-------|------|------------|------------|
| | 実数 | 割合 | 実数 | 割合 |
| タイプA ひとり親 | 50 | 5% | 50 | 5% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 300 | 30% | 500 | 50% |
| タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 200 | 20% | 300 | 30% |
| タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部) | 200 | 20% | 100 | 10% |
| タイプD 専業主婦(夫) | 100 | 10% | 50 | 5% |
| タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 50 | 5% | 0 | 0% |
| タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部) | 50 | 5% | 0 | 0% |
| タイプF 無業×無業 | 50 | 5% | 0 | 0% |
| 全体 | 1,000 | 100% | 1,000 | 100% |

■家庭類型と関連する事業の分類

| 家庭類型 | 家庭類型に関連する事業の分類 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・タイプC'：フルタイム×パートタイム (月下限時間未満+月下限時間～120時間の一部) ・タイプD：専業主婦(夫) ・タイプE'：パートタイム×パートタイム (いずれかが月下限時間未満+月下限時間～120時間の一部) ・タイプF：無業×無業 | <p>1 教育標準時間認定 (認定こども園及び幼稚園) <専業主婦家庭、就労時間短家庭></p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・タイプA：ひとり親家庭 ・タイプB：フルタイム×フルタイム ・タイプC：フルタイム×パートタイム (月120時間以上+月下限時間～120時間の一部) ・タイプE：パートタイム×パートタイム (双方が月120時間以上+月下限時間～120時間の一部) | <p>2 保育認定② (認定こども園及び保育所) 3 保育認定③ (認定こども園及び保育所+地域型保育)</p> |
| <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">※ただし現在幼稚園利用</p> | <p style="text-align: center;">⇒</p> <p>2 保育認定①(幼稚園) (共働き家庭幼稚園利用のみ)</p> |

>> 町における量の見込み

(1) 家庭類型の構成状況（現在の家庭類型と潜在的な家庭類型）

○現在の家庭類型から潜在的な家庭類型への“移動ニーズ”をみると、タイプBが「現在」の46.9%から「潜在」で50.9%と5割に上昇する。また、タイプC’も若干上昇する。

○反対にタイプDは減少する。母親の就労ニーズにより共働きのタイプへと“移動”したためである。

[0～5歳児の家庭類型]

| | 現在 | | 潜在 | |
|---|-----|-------|-----|-------|
| | 実数 | 割合 | 実数 | 割合 |
| タイプA ひとり親 | 36 | 7.9% | 36 | 7.9% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 214 | 46.9% | 232 | 50.9% |
| タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 101 | 22.1% | 100 | 21.9% |
| タイプC’ フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間～120時間の一部) | 19 | 4.2% | 26 | 5.7% |
| タイプD 専業主婦(夫) | 81 | 17.8% | 57 | 12.5% |
| タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 2 | 0.4% | 2 | 0.4% |
| タイプE’ パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| タイプF 無業×無業 | 3 | 0.7% | 3 | 0.7% |
| 全体 | 456 | | 456 | |

※アンケート調査より、就労の状況が無回答の人を除いて集計

※下限時間は月64時間で設定

(2) 量の見込みの算出シート（国のワークシート）

1) ワークシートの構成

- ①シートA … 家庭類型の「現在」と「潜在」の割合が示されている。（アンケート調査より把握）
- ②シートB … 各サービスごとの利用希望率が家庭類型別に示されている（アンケート調査より把握）
- ③シートC … 人口推計結果が示されている。
- ④シートD … 算出された見込み量（ニーズ量）が家庭類型別の合算で示されている。
- ⑤シートE … 実際の計算工程が示されている。（算出方法が確認できる）

2) 基本的な計算の仕方（例）

■ 1・2歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

| | a: 推計児童数(人) | | b: 潜在家庭類型(割合) | = | c: 家庭類型別児童数 |
|---|-------------|---|---------------|---|-------------|
| タイプA ひとり親 | 633 | × | 4.2% | = | 27 |
| タイプB フルタイム×フルタイム | | × | 55.2% | = | 350 |
| タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | | × | 22.4% | = | 142 |
| タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | | × | 0.0% | = | 0 |

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>（認定こども園及び保育所+地域型保育）

| | c: 家庭類型別児童数 | | d: 利用意向率(割合) | = | e: ニーズ量(人) |
|---|-------------|---|--------------|---|------------|
| タイプA ひとり親 | 27 | × | 100.0% | = | 27 |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 350 | × | 98.7% | = | 345 |
| タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 142 | × | 100.0% | = | 142 |
| タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 0 | × | 0.0% | = | 0 |

(3) 幼児期の教育・保育事業の量の見込み

1) 保育の量の見込み

① 0歳児(3号認定)

0歳児の保育については、「タイプA、B、C、E」の共働き世帯が利用の対象となる。国のワークシートでは、0歳児の見込みは、幼稚園を除く教育・保育施設利用ニーズから算出しているが、「育児休業中で家で0歳児を見ている家庭」も含めた利用意向率で算出されているため、見込み量が過大となっている。このため、例えばタイプBでは現在の利用率が5.9%であるのに対し、利用意向率は95%となっている。このような状況を踏まえ、国から示されている0歳児補正方法に基づいて見込みの補正を行った。

○補正の結果、見込み量はR2で153人と推計され、H31の実績78人より80人の増となっている。計画最終年のR6には158人となります。

■ 0歳児(3号認定)の家庭類型別の利用意向率

| 算出対象の家庭類型 | 現在の利用率(割合) | 利用意向率(割合) |
|---|------------|-----------|
| タイプA ひとり親 | 0.0% | 0.0% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 5.9% | 95.0% |
| タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 20.0% | 100.0% |
| タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 0.0% | 100.0% |
| 3号認定0歳児の利用意向率(タイプA、B、C、E全体) | | 81.3% |

ワークシートの算出値との比較

| 0歳 | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0歳推計人口 | | | 312 | 312 | 314 | 317 | 322 |
| ワークシート算出 | | | 254 | 254 | 255 | 258 | 262 |
| 補正算出値 | (89) | (78) | 153 | 153 | 154 | 155 | 158 |

単位：人 ※実績の()内は4月1日申込者数の実績

■ 0歳児(3号認定)の量の見込み

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | H31→R6 |
|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 総数 | 89 | 78 | 153 | 153 | 154 | 155 | 158 | 80 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

単位：人(実人数)

< 0歳(3号認定)の補正方法 >

■母親の育休取得等を踏まえた算出(ニーズ調査結果より)

国のワークシートより0歳児の利用意向は81.3%となっている。この意向率から以下の条件を控除等して算出した

①現在の育休取得者を控除

※調査結果より育休取得者の割合値(51.5%)を利用

→ $81.3\% \times (100 - 51.5)\% = 39.4\%$

②1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育休を取得したい者の控除

※調査結果より1歳になる前に職場復帰した人の中で、「保育所に入るため」と回答した人の割合($66.4\% \times 29.8\% = 19.8\%$)を利用

→ $39.4\% \times (100 - 19.8)\% = 31.6\%$

③1年以上取得者を勘案

※「平成24年雇用均等基本調査」より、現在「18ヵ月以上取得している者」(7.3%)と「12~18月取得している者の半分」(11.2%)は、整備が進んでも1年以上取得すると仮定

→ $81.3\% \times (100 - (7.3 + 11.2))\% = 66.2\%$

④年間の平均的な量の見込み

→ $(31.6\% + 66.2\%) \div 2 = \mathbf{48.9\%}$

補正後算出値による各年度0歳児見込み量

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 量の見込み | 153 | 153 | 154 | 155 | 158 |
| 推計児童数 | 312 | 312 | 314 | 317 | 322 |
| 補正後算出値 | 48.9% | 48.9% | 48.9% | 48.9% | 48.9% |

② 1・2歳児(3号認定)

○ 1・2歳児の保育については、「タイプA、B、C、E」の共働き世帯が利用の対象となる。

○ 利用意向率は、81.1%となっていますが、回答の中には「3歳以上から預けたい」、「町外の教育・保育等施設の利用希望」、「認可外施設のみ利用希望」が見られたことから、量の見込みからこれらを控除する補正を行った。

○ 補正の結果、見込み量はH31の申し込み者数455人から増え、R2で478人と算出された。R6には483人になると見込まれている。

■ 1・2歳児(3号認定)の家庭類型別の利用意向率

| 算出対象の家庭類型 | 現在の利用率(割合) | 利用意向率(割合) |
|---|------------|-----------|
| タイプA ひとり親 | 100.0% | 100.0% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 70.8% | 98.7% |
| タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 83.3% | 100.0% |
| タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部) | 0.0% | 0.0% |
| 3号認定1・2歳児の利用意向率(タイプA、B、C、E全体) | | 81.1% |

ワークシートの算出値との比較

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------|-------|-------|------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 1・2歳推計人口 | | | 633 | 629 | 633 | 635 | 640 |
| 保育ニーズ対象者 | | | 518 | 515 | 518 | 520 | 524 |
| ワークシート算出 | | | 513 | 510 | 513 | 515 | 519 |
| 上記より控除 | | | 35 | 35 | 35 | 36 | 36 |
| 補正算出値 | (480) | (455) | 478 | 475 | 478 | 479 | 483 |
| 補正後利用意向率 | | | 0.755(補正後算出値÷1・2歳推計人口) | | | | |

単位：人 ※実績の()内は4月1日申込者数の実績

■ 1・2歳児(3号認定)の量の見込み

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | H31→R6 |
|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 総数 | 480 | 455 | 478 | 475 | 478 | 479 | 483 | 28 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

単位：人(実人数)

< 1・2歳(3号認定)の補正方法 >

■現在利用していない人で教育・保育サービス利用希望者のうち、子どもが3歳以上になってから利用したいという回答を控除する。

■町外の教育・保育等施設の利用希望者を控除する。

■認可外施設のみ利用希望者を控除する。

子どもが3歳以上になってからの保育希望除外の考え方(R2)

| | ニーズ調査より | | | R2量の見込み | | 推計控除見込み | ワークシート算出値 |
|------|--------------------------|-----------------------------|-------|----------------------------|---------------|---------|----------------|
| | ① | ② | ③=②/① | ④ | ⑤=⑦-⑥ | ⑥=③×④ | ⑦ |
| | 利用対象者 (タイプA, B, C, E) | 3歳から希望 町外施設希望 認可外のみ希望 | 控除対象率 | 推計利用対象者 (タイプA, B, C, E) | 補正後利用者 見込み | 控除見込み | R2 ワークシートより |
| 1・2歳 | 117 | 8 | 6.8% | 518 | 478 | 35 | 513 |

単位：人、%

③保育ニーズ3～5歳(2号認定)

○3～5歳児の保育ニーズについては、「タイプA、B、C、E」の共働き世帯が利用の対象となる。

○利用意向率は、62.5%となっている。回答の中には「町外の教育・保育等施設の利用希望」、「認可外施設のみ利用希望」が見られたことから、量の見込みからこれらを控除する補正を行った。

○補正の結果、3～5歳の保育量の見込みは、H31実績の606人から増加し、R2で610人になると算出された。

■保育ニーズ3～5歳(2号認定)の家庭類型別の利用意向率

| 算出対象の家庭類型 | 現在の利用率(割合) | 利用意向率(割合) |
|---|------------|-----------|
| タイプA ひとり親 | 75.2% | 78.6% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 78.4% | 79.7% |
| タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 66.7% | 72.6% |
| タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 100.0% | 100.0% |
| 2号認定3～5歳児の利用意向率(タイプA、B、C、E全体) | | 62.5% |

ワークシートの算出値との比較

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------|-------|-------|------------------------|-------|-------|-------|-----|
| 3～5歳推計人口 | | | 1,052 | 1,061 | 1,033 | 1,001 | 996 |
| 保育ニーズ対象者 | | | 846 | 853 | 831 | 805 | 801 |
| ワークシート算出 | | | 657 | 663 | 645 | 625 | 622 |
| 上記より控除 | | | 47 | 48 | 47 | 45 | 45 |
| 補正算出値 | (573) | (606) | 610 | 615 | 599 | 580 | 577 |
| 補正後利用意向率 | | | 0.579(補正後算出値÷3～5歳推計人口) | | | | |

単位：人 ※実績の()内は4月1日申込者数の実績

■保育ニーズ3～5歳(2号認定)の量の見込み

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | H31→R6 |
|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 総数 | 573 | 606 | 610 | 615 | 599 | 580 | 577 | -29 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

単位：人(実人数)

<保育ニーズ3～5歳(2号認定)の補正方法>

■町外の教育・保育等施設の利用希望者を控除する。

■認可外施設のみ利用希望者を控除する。

幼稚園のみの希望控除の考え方(R2)

| | ニーズ調査より | | | R2量の見込み | | 推計控除見込み | ワークシート算出値 |
|------|--------------------------|-------------------|-------|----------------------------|---------------|---------|----------------|
| | ① | ② | ③=②/① | ④ | ⑤=⑦-⑥ | ⑥=③×④ | ⑦ |
| | 利用対象者 (タイプA, B, C, E) | 町外施設希望 認可外のみ希望 | 控除対象率 | 推計利用対象者 (タイプA, B, C, E) | 補正後利用者 見込み | 控除見込み | R2 ワークシートより |
| 3～5歳 | 226 | 14 | 6.2% | 846 | 610 | 47 | 657 |

単位：人、%

2) 幼児期の教育の量の見込み

①教育3～5歳(1号認定)

○1号認定は、「タイプC'、D、E'、F」の専業主婦(夫)またはそれに近い世帯が利用の対象で、3～5歳児の幼稚園または認定こども園(保育の必要がない家庭)の見込みである。

○量の見込みは、R2で168人と算出された。その後R6までほぼ横ばいで推移すると予測されている。

○次項の2号認定(保育の必要あり)も合わせ、教育ニーズの量を確認する。

■教育3～5歳(1号認定)の家庭類型別の利用意向率

| 算出対象の家庭類型 | 現在の利用率(割合) | 利用意向率(割合) |
|--|------------|-----------|
| タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部) | 69.2% | 73.3% |
| タイプD 専業主婦(夫) | 48.8% | 89.2% |
| タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部) | 0.0% | 0.0% |
| タイプF 無業×無業 | 0.0% | 33.3% |
| 1号認定3～5歳児の利用意向率(タイプC'、D、E'、F全体) | | 16.0% |

■教育3～5歳児(1号認定)の量の見込み

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | H31→R6 |
|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 総数 | — | — | 168 | 170 | 165 | 160 | 160 | — |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

単位：人(実人数)

②教育ニーズ3～5歳(2号認定)

○3～5歳児の教育ニーズについては、「タイプA、B、C、E」の共働き世帯が利用の対象となる。2号認定(保育の必要あり)で、認定こども園・幼稚園利用を希望する量の見込みである。

○量の見込みは、R2で189人と算出された。その後R6にかけてわずかながら減少すると予測されている。

○前項の1号認定の見込みも合わせ、教育ニーズの量を確認する。

■教育ニーズ3～5歳(2号認定)の家庭類型別の利用意向率

| 算出対象の家庭類型 | 現在の利用率(割合) | 利用意向率(割合) |
|---|------------|-----------|
| タイプA ひとり親 | 21.4% | 21.4% |
| タイプB フルタイム×フルタイム | 20.0% | 20.3% |
| タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 30.3% | 27.4% |
| タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部) | 0.0% | 0.0% |
| 2号認定3～5歳児の利用意向率(タイプA、B、C、E全体) | | 17.9% |

■教育ニーズ3～5歳(2号認定)の量の見込み

| | H30実績 | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | H31→R6 |
|----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 総数 | — | — | 189 | 190 | 185 | 180 | 179 | — |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

単位：人(実人数)

3) 教育・保育事業の見込量まとめ

| | H31実績 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1号 | 222 | 168 | 170 | 165 | 160 | 160 |
| 1・2号教育 | — | 357 | 360 | 350 | 340 | 339 |
| 2号 | 606 | 799 | 805 | 784 | 760 | 756 |
| 教育 | — | 189 | 190 | 185 | 180 | 179 |
| 保育 | — | 610 | 615 | 599 | 580 | 577 |
| 3号 | 557 | 631 | 628 | 632 | 634 | 641 |
| 0歳 | 102 | 153 | 153 | 154 | 155 | 158 |
| 1・2歳 | 455 | 478 | 475 | 478 | 479 | 483 |
| 2・3号計 | 1,163 | 1,430 | 1,433 | 1,416 | 1,394 | 1,397 |
| 総計 | 1,385 | 1,598 | 1,603 | 1,581 | 1,554 | 1,557 |

【参考】

① 申し込み率の推移と第2期ニーズ割合

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 第2期 ニーズ割合 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 1号 | 22.5% | 23.2% | 23.4% | 22.5% | 21.7% | 16.1% |
| 1・2号教育 | — | — | — | — | — | 34.0% |
| 2号 | 47.3% | 51.2% | 56.5% | 56.5% | 59.1% | 75.9% |
| 2号保育 | — | — | — | — | — | 57.9% |
| 3号 | 45.1% | 47.5% | 52.7% | 54.7% | 57.2% | 66.6% |
| 0歳 | 26.0% | 22.6% | 29.4% | 25.5% | 33.1% | 49.1% |
| 1・2歳 | 53.7% | 60.3% | 64.3% | 68.2% | 68.3% | 75.5% |
| 2・3号計 | 46.3% | 49.4% | 54.6% | 55.6% | 58.2% | 71.3% |
| 総計 | 57.9% | 61.5% | 66.3% | 66.7% | 69.3% | 79.5% |

急激な伸びに見えるが、5年後は可能性あり

② 申し込み率の伸び（対前年比）

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 第2期 |
|--------|-----|------|-----|------|------|------|
| 1号 | — | 0.7 | 0.2 | -0.9 | -0.8 | -5.6 |
| 1・2号教育 | — | — | — | — | — | 12.3 |
| 2号 | — | 3.9 | 5.3 | 0.0 | 2.6 | 16.8 |
| 2号保育 | — | — | — | — | — | -1.2 |
| 3号 | — | 2.4 | 5.2 | 2.0 | 2.5 | 9.4 |
| 0歳 | — | -3.4 | 6.8 | -3.9 | 7.6 | 16.0 |
| 1・2歳 | — | 6.6 | 4.0 | 3.9 | 0.1 | 7.2 |
| 2・3号計 | — | 3.1 | 5.2 | 1.0 | 2.6 | 13.1 |
| 総計 | — | 3.6 | 4.8 | 0.4 | 2.6 | 10.2 |

※①の申し込み率より

③ 1年あたりの申し込み伸び率と第2期のニーズ割合

| | 1号 | 教育ニーズ (1号+教育) | 2号 (教育+保育) | 2号 (保育) | 3号 (0歳) | 3号 (1・2歳) |
|----------|------|------------------|---------------|------------|------------|--------------|
| 第1期平均 | -0.2 | | 3.0 | | 1.8 | 3.7 |
| 第2期ニーズ平均 | -1.1 | 2.5 | 3.4 | -0.2 | 3.2 | 1.4 |

※第1期(1年あたり)=H28~H31の平均値
第2期(1年あたり)=第2期伸び率の5年平均値

第1期の1年あたりの伸びより緩やかと見込まれる

④ 第1期の申込数

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1号 | 242 | 250 | 239 | 228 | 222 |
| 2号 | 509 | 552 | 577 | 573 | 606 |
| 3号 | 456 | 475 | 532 | 563 | 557 |
| 0歳 | 82 | 76 | 99 | 83 | 102 |
| 1・2歳 | 374 | 399 | 433 | 480 | 455 |
| 2・3号計 | 965 | 1,027 | 1,109 | 1,136 | 1,163 |
| 総計 | 1,207 | 1,277 | 1,348 | 1,364 | 1,385 |

⑤ 第1期の人口

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1号 | 1,075 | 1,079 | 1,022 | 1,014 | 1,025 |
| 2号 | 1,075 | 1,079 | 1,022 | 1,014 | 1,025 |
| 3号 | 1,011 | 999 | 1,010 | 1,030 | 974 |
| 0歳 | 315 | 337 | 337 | 326 | 308 |
| 1・2歳 | 696 | 662 | 673 | 704 | 666 |
| 2・3号計 | 2,086 | 2,078 | 2,032 | 2,044 | 1,999 |
| 総計 | 2,086 | 2,078 | 2,032 | 2,044 | 1,999 |

⑥ 推計人口 (平成29→平成30のコーホート変化率より算出)

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0歳 | 312 | 312 | 314 | 317 | 322 |
| 1歳 | 314 | 318 | 318 | 320 | 323 |
| 2歳 | 319 | 311 | 315 | 315 | 317 |
| 3歳 | 356 | 330 | 322 | 326 | 326 |
| 4歳 | 351 | 356 | 330 | 322 | 326 |
| 5歳 | 345 | 375 | 381 | 353 | 344 |
| 計 | 1,997 | 2,002 | 1,980 | 1,953 | 1,958 |